



平成18年度 第1号  
2006年7月15日発行

近畿地方会ホームページ  
[www.kinkireh.com](http://www.kinkireh.com)

日本リハビリテーション医学会 近畿地方会事務局  
独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院  
リハビリテーション科 住田 幹男

お問合せ先  
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-1  
プロメナ神戸16階  
株式会社プロアクティブ内  
TEL:078-366-5050 FAX:078-366-5051  
E-mail: kinkireh@pac.ne.jp



2001年10月に京都府地域リハビリテーション協議会が設置され、2002年度のモデル事業として、2001年2月に「地域リハビリテーション中丹圏域連絡会」を設置し、保健所がその事務局となり舞鶴赤十字病院を「地域リハビリテーション(広域)支援センター」として指定してきた。そして、リハ資源の調査、リハ従事者への研修会、訪問相談、ホームページの開設、連携指針の策定などをしてきた。

2005年度は、南丹、乙訓、山城北の各圏域に地域リハ支援センターを指定することにより、京都市域を除く6圏域での地域リハ支援体制が整備された。京都府は、京都府リハ支援センターを京都府立医科大学病院内に開設し、リハ部と協働しながら、6圏域の地域リハ支援センター、保健所、地域リハ圏域連絡会と協力することにより、地域リハ支援事業を推進することとなった。

府リハ支援センターは、地域リハ支援センター事業への協力、府行政内のリハ関係部門や関係団体との連携づくり、ホームページの開設を行った。そして、昨年の10月8日には、第1回京都府地域リハビリテーション研修会「京都の地域リハの現状と展望」を舞鶴市で開催し、地域リハ支援センターの舞鶴赤十字病院の報告を受けて、95名の参加者で経験の共有を図った。11月26日にはリハ専門職研修会「介護予防と地域リハビリテーション」を開催し、府立医大リハ部長の長谷先生、京都府介護推進室長の衣笠氏などの講演に223名の参加を得た。

本年1月20日には、リハ管理者研修会「急性期・回復期リハビリテーションのあり方—医療における役割と地域へつなげる連携にむけて—」を開催し、大阪府立身

## 京都府リハビリテーション支援センターのご紹介

京都府リハビリテーション支援センター  
武澤 信夫



体障害者福祉センター長の鈴木恒彦先生の講演を受けて、リハ医、主任セラピストを中心に94名の参加を得て当面の課題について討論した。また、府介護推進室と協働して介護予防サービス従事者研修会の「運動器の機能向上」を担当し、看護協会、歯科医師会と協力して3回実施した。

京都府におけるリハ資源の現状を考えると、依然としてリハ専門医、リハ専門職の不足状態が続いており、特に京都府北部において顕著である。また、急性期リハを担う施設の体制も充分であるとは言いがたい、回復期リハ病棟の整備に関しても京都市及び山城北に集中し、その他の圏域では皆無である。

しかし、一方で、この1~2年全国的にはリハ専門職の養成が増大しており、京都府内への新人の理学療法士、作業療法士が70~100名ずつ就職していることを考えると、地域への定着化と資質の向上も緊急課題である。各リハ専門職団体(士会)の新人教育プログラムに協力し、各圏域での専門職種のかさを越えた地域リハも含めた新人教育のシステム化が求められている。また、各士会と協力し、大学病院や地域リハ支援センター指定の病院等でのリハ専門職の受け入れ研修のプログラムを作成し、そ

の制度化を進めている。

また、特に京都市域においては、総合リハビリテーション施設や回復期リハビリテーション病棟などのリハ資源が集中しており、急性期リハから回復期リハ、そして維持期リハへのリハ医療の流れを整備し、患者、高齢者の視点に立った地域リハの連携システムの構築を開始している。

### CONTENTS

- ・京都府リハビリテーション支援センターのご紹介…………… 1 頁
- ・施設紹介<第2回> 関西リハビリテーション病院…………… 2 頁
- ・第21回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会の大阪開催にあたって…………… 3 頁
- ・第21回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会の開催概要…………… 4 頁
- ・日本リハビリテーション医学会近畿地方会専門医・認定臨床医生涯教育研修会カレンダー…………… 5 頁
- ・編集後記…………… 6 頁